

*先日のアンケート調査と事業所による自己評価の結果をお知らせします。字が小さくすみません。ホームページ上にも載せてありますので参照下さい。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 2月26日

事業所名 だいじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広さは十分である	
	2	職員の配置数は適切である	○		状況によっては人員が不足する場合もあるが何とか対応している	敷地内保育園との連携によって電話対応の不備に対応する
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		児童の状況に合わせて適宜模様替え等を行い対応している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃を十分に行っている	子どもの安心感を醸成する敷物等を整備する
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		よく話し合っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		事業所評価を行っている	率直なご意見を聞けるように保護者懇談会の回数を増やすように努める
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎月のお便りにて公開したことをお知らせしている	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価の受診について検討する
適切な 支援の 提供	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月講師を招き研修受講している。LITALICOの研修受講している	専門的な研修に取り組みたい
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		WISC-V、言語発達評価を取り入れた	児童発達支援計画に適切に反映していきたい
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	WISC-V、言語発達評価を取り入れた	今後一層アセスメントツールを取り入れる
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			具体的支援により適切に反映できるようにする
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画を職員全体で共通理解するようにしている	適切に児童発達支援計画を作成及び周知するよう努める
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職種毎に力を発揮して活動プログラムを作成している	より楽しい活動になるように努める
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職種毎に力を発揮して活動プログラムを作成している	より楽しい活動になるように努める
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		児童発達支援計画の作成が遅れ気味である	適切に児童発達支援計画を作成及び周知する
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		記録の共有により打ち合わせの補完をしている	支援前の打ち合わせが困難なので事前に配置表を作成・共有しているが役割分担に比重が傾きがちである
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日全員が揃う場などに話し合うようにしている	打ち合わせが困難な場合には記録の共有をしているが、役割分担に比重が傾きがちである
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリング結果が適切に計画に反映されるように努める
関係機関 や保護者 との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいの子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当者なし	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいの子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育所等訪問支援事業を活かしている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		定期的に情報交換をしている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		全員が幼稚園、保育園に所属している	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		ここ数年コロナ禍により開催があまりない
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			より楽しい活動になるように努める話し合いや連絡の機会が持てるように努める
保護者への 説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			講師を招聘して家族支援プログラムに取り組む
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらわら及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			より相談しやすくなるように努める
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会の回数や頻度を多くするよう努める
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月の会報の発信ができていて、内容の充実にも努める
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報の保護に努めている
	39	障がいの子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			敷地内保育園との交流ができています
非常時 等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		実施しているが、保護者への周知が不十分なので情報発信に努める
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			訓練の充実にも努める
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット会議録を以て事例集としている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			